

学長メッセージ

新型コロナウイルス感染症 5 類移行への対応について

2023 年 5 月 22 日

学長 星 文彦

本年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に変更されたことを踏まえ、本学においても、これまでの制限を緩和しつつ、教育・研究活動と感染対策を両立していくこととします。

一方、今後も感染流行が懸念されており、病院施設等では引き続き感染リスクに注力していることは変わりありません。

本学は、保健医療福祉領域の専門職を育成する大学として、一般社会の感染対策よりも一段階慎重な判断が求められます。本学で学ぶ学生として適切な感染対策を引き続き心がけて下さい。

今後の学内活動について、要点を列記します。

1. 基本的な感染対策（マスク※、換気、手指消毒、三密回避等）は継続する。
※教室内等でのマスクの着用については、各個人の判断とすることを原則とするが、風邪様症状等がある場合はマスクの着用を特に推奨する。
2. 公欠の対象は、陽性及びワクチン接種に伴う副反応の場合のみとする。
3. サークル活動に伴う施設利用等はコロナ禍前に戻す。
4. 学外者の施設利用を再開する。（情報センター、食堂など）

この 4 年間の私たちの経験を踏まえ、今後も感染予防行動を引き続き徹底した上で、大学生活の場、「SPU 学習コミュニティ」の再建を目指します。

「ウイズコロナ」を踏まえた、いわゆる「ニューノーマル」な大学生活の実現に向け、保健医療福祉を学ぶ学生として「自己管理、自己責任」の自覚と勇気をもって、次のステップに共に力を合わせて進んで行きましょう。